

2019年4月23日



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

2019年3月 マンスリーレポート

集計企業数 55 社

①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,027,989 万円	100.0% 100.0%	101.3% (100.0%)	54,357,589 万円	99.6% (98.0%)
食 料 品	48,496,147 万円	85.0% (86.7%)	101.1% (99.9%)	46,384,305 万円	99.4% (97.8%)
農 産	7,235,097 万円	12.7% (13.0%)	96.0% (94.7%)	7,000,463 万円	94.4% (93.4%)
水 産	4,522,058 万円	7.9% (7.8%)	101.7% (100.5%)	4,371,380 万円	100.0% (98.9%)
畜 産	6,084,161 万円	10.7% (11.0%)	103.5% (99.7%)	5,870,641 万円	101.6% (98.0%)
惣 菜	5,714,866 万円	10.0% (10.2%)	101.5% (105.9%)	5,503,022 万円	99.7% (98.8%)
日配食品	10,741,366 万円	18.8% (19.2%)	101.2% (99.3%)	9,895,368 万円	99.6% (98.0%)
加工食品	14,198,599 万円	24.9% (25.4%)	102.4% (100.8%)	13,743,430 万円	100.8% (99.2%)
生活関連	3,446,563 万円	6.0% (5.8%)	102.1% (99.3%)	3,348,853 万円	101.4% (98.8%)
衣 料 品	1,573,971 万円	2.8% (2.3%)	100.2% (97.0%)	1,479,980 万円	100.5% (97.2%)
そ の 他	3,511,308 万円	6.2% (5.2%)	103.3% (103.4%)	3,144,452 万円	100.7% (100.3%)

② 数 値

全店総売上高	57,027,989 万円	店舗数	4,772 店舗
総売場面積	9,443,190.7 m ²	総従業員数	243,615 人

店舗平均月商	11,950.5 万円	平均客単価	1,926.3円 (101.7%)
月間m ² 売上(前月)	6.0 万円 (5.5万円)	平均店舗面積	1,978.9 m ²
月間坪売上(前月)	20.0 万円 (18.2万円)	パート比率(前月)	77.1% (77.4%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 3月の天候について、気温は月の平均気温は全国的に高かったものの、中旬から下旬にかけては前年を下回る地域があった。日照時間はほぼ全国的に多く、降水量は北日本と東日本太平洋側で少なく、沖縄・奄美では多かった
- ・ 桜の開花について、東京は昨年より4日遅い3月21日、大阪は昨年より7日遅い3月27日であった
- ・ 生鮮品の相場状況について、農産物では大型野菜の相場安が続いた。水産物では卸売市場への入荷量が前年と比べ少なく、卸売価格はやや高値で推移をした。畜産物では、豚コレラの感染影響により豚肉が相場高となり、鶏については、むね肉が安値で推移をした
- ・ 前年同月と比較して日曜日が1回多く、木曜日が1回少ない曜日廻りであったが、既存店の売上高は前年を下回る結果となった

《 商品動向 》

・ 農産

- ・ 野菜の不調が続いている。キャベツや大根、白菜など大型野菜の相場安が続き、大幅な単価減少の影響を受けた
- ・ 気温の上昇と相場環境の影響により、トマト、レタス、きゅうり、アスパラガスなどサラダ野菜が概ね好調であった
- ・ 果物ではアボカドやキウイフルーツが好調であった一方、イチゴが相場高により販促が打ち出せず不調であった

・ 水産

- ・ ブリやサワラが好調であった一方、昨年好調の貝・海藻類は不調であった
- ・ マグロやカツオは好不調が分かれる結果となった
- ・ 旬のホタルイカやイカナゴは不漁により不調であった

・ 畜産

- ・ 精肉は全畜種ともに概ね好調であった
- ・ 牛肉の用途別では、すき焼き・しゃぶしゃぶ用、ステーキ用、焼肉用など、ごちそうメニュー商材が好調であった

・ 惣菜

- ・ 春休みの簡便や行楽ニーズとして、お弁当、丼物、スナック類が好調であった。その他では、中華惣菜や、唐揚げやトンカツなど肉系の惣菜が好調であった
- ・ 春の素材を使用した商品や、新商品、リニューアル商品が好調であったとのコメントが多くみられた

- ・ 日配・加工食品

- ・ 牛乳や乳製品、パンや調理パンが概ね好調であった
- ・ ヨーグルトが不調であるとのコメントが多くみられた
- ・ 3月に値上げがあった商品の中で、冷凍食品は好・不調が分かれ、アイスクリームは不調となった。アイスクリームの不調の原因については、昨年好調の反動減も理由として挙げられる
- ・ テレビ番組の影響により、納豆、梅干し、甘酒、飲用酢、オリーブ油やえごま油などの食用油、サバ缶を中心とした魚缶詰の好調が続いている
- ・ 前年より桜の開花が遅れたため、お酒や飲料など花見関連商品を不調とするコメントが多くみられた

- ・ 「ひな祭り」マーケットの状況について

- ・ ひなまつり当日が日曜日だったため、手作り関連商品（マグロ・いくら・サーモン・玉子・かまぼこ・のり・酢など）や、ちらし寿司、手巻き寿司、手まり寿司が好調であった
- ・ ひなあられが不調であるとのコメントが多くみられ、マーケットの縮小についてのコメントもみられた

- ・ 「お彼岸、お花見・行楽」マーケットの状況について

- ・ 「春のお彼岸」について、おはぎ、天ぷら、煮物が好調であった
- ・ 「お花見・行楽」について、おにぎり、サンドイッチ、唐揚げ、おつまみ商材が好調であった

以 上